○美術展覽會(續)　是より廊下に出づれば大坂製の既通三枚を掲げたり三の間に入れば銅器陶器の陳列ありしも飾り棚には未だ空多く出品の揃はざるとを察す此の處には金銀具類の細工物出陳ありて孰れもガラス越しあれば精粗は詳らかにしがたきも美しく見えて價の高きは精巧の品あるべしと假定して四五品を選めば中村吉兵衛出品關壽宗作燒金四君子彫刻手鉛(三十五圓)香川勝廣作燒金鍔の前金物は裏座赤銅に金線を取り紳は一寸二三分も有るべきか細工も好きやうなれど價も亦貴く金三十五圓と記せり、課題製品には水石契久の意を寫したる狢貘入、手鉛等數品ありしが手に取りて一々に審査したらんには定めて意匠も巧みある尤物あるべし中ょ就き都筑利貞出品課題蜘蛛に碁盤の貝製手鉛ハ白の方に碁盤を浮き彫りにして黒の方に蜘蛛を彫りたり碁石に因みて黒白色の貝を選みたるならんが之を着用して左右色を異にするハ少しく好事に過ぎたる意匠にはあらざるか價は七圓五十錢大園貞次郎出品摘擬樣牛箱はシガア入れに應用せば面白かるべく併し二百圓の價は如何あらん、加藤禮七出品牙彫美人は襟元の太きに比して顔の釣合少しく小さくはあらざるか同じ棚に並びし岸村久太郎出品牙彫楊柳觀音の方体格の權衡を得たるやうあり、扨其傍ょ橫濱山手四十四番館英人ゼームス氏が出陳せし香爐四個蒔畫の手箱一個ありて昨年開會の節にも氏の出品は好評を得たるが此の五品も悉く精巧にして眞に美術品とは是等の類あるべしと見たり品の精巧なるのみならず其の物毎に相當の盛を作り盛と物の取合にも皆意匠の現れて一段品位を高からしめ超然他の陳列品を睥睨する者の如し他の諸品も陳列の配置及飾装等に多少意を用ひあらば美術品の位格も亦大に加はるべし、二の間の入口には織物類在りて綢珍織純子等の婦人洋服地又は帶地、テーブル掛ハンケチーフ等あり、此室よりは古製品を陳列し蒔繪手箱、硯箱、文臺等多く不具眼の記者未だ一々審評し難きも皆な結構なる品のやうなり中にも硝棚一個の中悉く茶入にて過半は華族の秘藏品と了仲氏の出品なれば世襲財產の目録にも在るべく或は傳來の貴きもあるべきが形ょ多少の別あるも皆一樣の茶入と見たるのみ此前には餘り足を止むる人も少きは世間茶氣に乏しきと思ひしに半白の翁大きな眼鏡をかけ一々に見て二三品を手帳に止めたるが茶入の知已は此人のみなりき　（未完）

○東海道鐵道の件　東海道鐵道全通の件は遂に略ぼ報道せしが濱松靜岡間も愈〻本月十六日より開通する由ょて此上は只〻近江長濱ある湖東線一ヶ所あるも同所よりは滊船便にて直に滋賀鐵道に接する譯なれば旅客の便思ひ遣らるゝ事あり愈〻全路開通の上は各線路とも發着時間を改め東京よりは毎日三回づゝ大急行列車を發し第一列車は即日神戶に着する等なれども長濱線開通迄は滊船乘換のこともあるを以て翌日着となるべし又此頃同線路中大井川架橋は何故か中央に歪みを生じ危險の恐あるを以て目下其原因を調べ繕中なりと尙は湖東鐵道の工事も追〻捗取り多分本月廿日頃には開通の見込にて開通式は馬場にて擧行し其際は御臨幸を仰んとの說も有る由なれば東海道鐵道の全通もいよ〳〵近きにあるべしと云ふ

○船渠築造　京橋區南飯田町十三番地日本製鐵會社々長品川忠道同築地一丁目十四番地同社取締役笠野吉次郎の兩氏より同區南飯田町十三番地へ引揚船渠興行二百尺巾百卅尺海岸切下九尺以上一尺に付三分勾配ょ設立致度旨圖面幷擔法書を添へて去三月八日東京府廳へ出願せし所一昨二日府廳の趣附屆候條工事着手落成共當廳土木課へ屆出檢査を可受事と指令相成りたり

○山田の賑ひ　當時御造營中なる伊勢神宮は來る十日皇太神宮は四日、豐受太神宮は七日に式年遷宮式を行はるゝに付き去月廿六日は皇太神宮、廿八日は豐受太神宮の上棟式にて國重造神宮使が參向ありて廿六日には宇治橋の渡り初めをも爲し同日參宮者は無慮十二三万人餘もありて山田は勿論伊勢中が道者にて非常に賑はたるが宇治橋にて投餅の折には即死二人負傷者六人もありしと云ふ

○八十五貫目の婦人　或る人米國バルチモーアのローレルの墓を通り掛りしに大の男八人掛りにて忙はしげにいと大なる穴を掘り傍に又いと大なる棺の橫り居るを見たるにヲコハ何者を納れしものにやと尋ねしに是れこそ一時世上に名高かりし肥滿婦人ピック、ウインユーの屍にして近頃心臟肥滿病にて死せしなりといふ爰に困りたるは色々尋ね廻はりても之を納るべき棺を見當らざるより遂に棺を新造せしめしに如何にも大なる者の出來上り試に通常人何名入り得べきやと計りしに八人に小供一人入りても何餘ある程にて之を車に搭載して同人の家に運びしに餘りに大きくして門内を通過せざるより屋の據を劍きて家の前に運び三力機械にて屍体を引揚げ棺に移したるに婦人の頭は頸と肩の太き爲め殆ど隱れ居る有樣にて屍体を揚ぐるには大の男十一人にても困り果てしと云ふさて同人はケンタッキ州ヘンリー郡に生れ十五歳にしてジョンソンといへる者に嫁し五男五女を擧げ二十歳の時より肥滿し始め遂に八十五貫目もある肥滿婦人となり國中到る處の觀物に出で五十歳にして死したりといふ

○二松學舍談話會　同會は來る十三日午後一時より上野遊藝亭に於て開會する筈にて當日は三島中洲翁も臨席し近縣よりも出席する人々尠からずと云ふ

○專修學校運動會　神田今川小路專修學校の講師校友法律科生理財科生豫備科生校外員等合計一千有餘名は來る七日午前七時本校に集合し相馬校長の指揮にて飛鳥山に至り第八回大運動會を開き角力、花奪競爭、拿卵競爭、綱引、旗奪等の競技を爲して優等者にハ夫々賞品を與ふる筈なりと云ふ

○大通學俗講談會　同會第五期第二回は來る七日午後六時半より一ッ橋外大學講義室に於て開き(社會の有機と外科術の關係)佐藤敎授(瓦斯体幷瓦斯狀)櫻井敎授にて例の通り尤も平易に演述すると云ふ

○地方出火　去一日午前三時頃加賀河北郡津幡驛吉田時造方より出火十九戶電柱一本燒失警察署も類燒せり

○橫濱船舶　獨乙滊船ライデヤ號は雜貨を積み二日午後八時香港より橫濱に入港獨乙郵船シヤチルウエダ號は三日午前九時香港へ向け橫濱を出帆せり

○橫濱船客　(二日)神戶より入相摸丸　折田彦市○(同日)四日市行廣島丸　植村市太郎、野村金次郎○(同日)神戶馬關長崎上海行東京丸　青木忠橘、西寬二郎、中野忠繁、渡邊彌二六、岩見藤助、藤城辰三、入江鷹之助、稻津雅通、西フサ、同ミキ、垣内正輔、松下文吉、林忠正、入江ツケ

○えん日　今日のえん日ハ日本橋西河岸地藏、内藤新宿二丁目淸正公、芝三田三丁目鬼門除地藏等あり

新刊書及雜誌

○子供の育方　土居辨次郎著　金港堂發兌
小兒の初めて生れたる時より就學の頃迄の育て方を智德体の三樣に區別して說き文章平易よして務めて解し易きを旨とせり世の父母たる者に取りて極めて有益あるべし

○佛敎　第一號　芝西久保巴町能潤社發行
是迄能潤社より發行し居たる能潤新報を更に改題したるものにて本號には今回渡來したる米國の佛敎家オルコット氏の肖像を掲げたり

○民之燈　第一號　牛込新小川町一丁目同胞社發行
民之燈は論說、小說、文章、詩、歌、俳句、寄書、雜事の數門に分ちたるが小說欄には依田百川、川尻寶岑兩氏合作の芝居脚本を載せたり

女學雜誌第百五十五號○大日本商業新誌第二百五號○大日本私立衞生會雜誌第七十號○少年園第一卷第一號○數學論理問答(代數幾何の部)第十三號○國民之友第三號○感化監獄事新報第三十三號○大同新報第二號○正教新報第二百號○國政醫學會雜誌第二十四號○內外兵事新聞第七百十一號○改友第十二號○明治之法論第十三號○自治新誌第五號○大日本[illegible]協會報告第二十八號○農民之友第二號○法學速成雜誌第六十六號○法理精華第七號○日本法律雜誌第三十九號○愛京醫誌第七號○寫眞新報第二號○哲學[illegible]雜誌第一期第二年級第九號同第二期第一年級第十八號○文明の母第五號

寄書

九州の大同論に就て

熊本より

貴社新聞四千六百二十三號雜報欄内に於て熊本通信と題し「大同團結は九州の輿論にあらず山鹿會にて大同團結に向て委員を出すべしと決したるは全く福岡の一派にして福岡の地を離るれば大同團結者なし」との一段は何人の通信かは知らざれども大に事實を誤まれる甚しき誣言あり去二月廿三日の議場に於て大同團結の論者あきを以て非大同の九州輿論たるとを證すれども是れ事實を知らざる者の言あり彼議場に於ては單に九州の聯合を謀るに止まり其運動は後會を期すべしとの約束に成りしのみ其會議の畢りに臨て東北大坂愛媛の聯合者の委員を謝絶せんとして頗ょ盡力せし者は僅々たる熊本實學派の内にて山田武甫嘉悦氏房兩氏と相愛社の內宗像景雄高田露宗像政堀田道春の四氏のみ他は皆相愛社長池松豊記廣田尙意田文子等の諸氏及び改進自由を主義とする一般の人々は之を謝絶せざりしのみならず九州各地より來會せし數百の同志者は一人の實學派及和愛社一部分の謝絶論に同前せし者はあかりき唯鹿兒島鄉友會中の一小部のみ右とも左とも未だ唱へざりし者あり三州社及び他の改進自由派ハ皆な謝絶說に頓着せざりしあり乍併九州人士が大同團結あるものを唱ふるとて徒に漠然たるものにハ非ず施政上の主義と政界とに於て意氣相投ずるものと聯合一致して運動するを欲するものあり猶又終に於て一言辨じ置く事あり彼の九州の一部に非大同と稱する一派あるを東京の立憲改進黨中の一部たる某派の姑息論と一樣の如く看做すものあれども全く然らず此等の非大同論者と雖も某派の如き狹局論者にはあらず九州の聯合のみを唱へて全國の大聯合を圖るに着眼せざるもの即九州獨立して孤立せずとの議論なり或は大同と云へば後藤伯一個の黨派と唱ふる摸樣もある故に大同團結と口にするを好まざるに出づるのみにて全國同志者と主義と政略とを同ふする人士は共に相提携して立ざる可らずとの意見は決して遂はざるを保せん若し之を疑はゝ其人に就て之を問へ倘信せずんば他日の運動に就て之を視さんのみ嗚呼我九州關西及關東と東北との同志諸君よ彼卑劣ある姑息ある一派の反間に誘れて九州の同志者を誤認するあかれ

東京物價表

四月三日

○米商會所、株式取引所、正米共休業

○市中取引金銀貨幣諸公債共同事

○鹽は延期同事三月中入船は赤穗六艘　本齋二艘前貫五艘〆十三艘あり綿は三州生白伊勢晒類は極〻靜ある事近年に稀なり高塩一体の[illegible]目下大に下落せり○洋糸は響りなく持合の姿○[illegible]響りあし○粉類は總て不入氣其内にも片栗は何とあく望人なく大ひに下直

○玉子は昨今捌け方あしく入津も少き故別段響りあし

○白米小賣相場　一等(上米)一斗三升六合○二等一斗四[illegible]○(中米)三[illegible]五升七合○四等(下米)一斗六升[illegible]○五等一斗七升五合[illegible]七合

○金銀貨幣(四月三日)正午相場　金貨幣百卅三圓三十錢○眞文小判十六圓五十錢○同二分判六百六十九圓○草文小判六百六十七圓○同五百八十七圓五十錢○新小判百七十三圓○安政二分判百四十二圓○同[illegible]○純金一匁ニ付三圓二十五錢○古一分銀百四十圓○新一分判百二十[illegible]一朱銀百二十三圓○保字小判五百七十九圓○正字小判四百六十五圓○古二朱金三百七十九圓○新二分、二朱金百三十九圓三十錢○純銀一匁ニ付[illegible]

○諸公債地株式(取引所正午相場)　金祿七分利付百二圓三十錢○同六分利同百一圓九十錢○同五分利同百圓○無記名起業百四圓二十錢○金札引換[illegible]二圓○中山道公債百六圓四十錢○整理公債百二圓十錢○海軍公債百一[illegible]○新公債九十圓○舊公債二十七圓八[illegible]○日本銀行株(百圓)二百[illegible]○正金銀行(百圓)二百七[illegible]二圓○同新株(五十圓)百五十一圓○第一[illegible]○第三[illegible]行株[illegible]○第百銀行株[illegible]○第二銀行株[illegible]○日本鐵道株[illegible]○同三回發行[illegible]○同二回發行[illegible]○兩毛鐵道株[illegible]○甲武鐵道株七十五圓[illegible]○水戶鐵道株[illegible]○日本郵船株(五十圓)九十二圓[illegible]○明治生命株(百圓)百五十五圓○內國通運株[illegible]○日本運輸新株(一圓)九圓八十錢[illegible]○日本運輸[illegible]三十七圓五十錢○東京馬車株(五十圓)[illegible]○東京電燈株(七十五圓)百三十八圓[illegible]○東京毛糸株(二十圓)二十圓○日本帝[illegible]株(二十五圓)[illegible]○北海道炭礦鐵道株(五十錢)[illegible]○甲信鐵道株(一圓)[illegible]○山形鐵道株(五十錢)二圓四十五錢○[illegible]○九州鐵道株(五圓)十七圓五十錢○日本製鐵株(十五圓)二十六圓

○鰹(一圓ニ付)[illegible]四俵一分○本節六俵五分五厘○[illegible]七俵三分五厘○新節七俵四分五厘

○玉子(下谷ニ付)　○[illegible]二十錢ゟ三十錢○中玉六圓○大玉(一〆目ニ付)六十錢ゟ五錢

○糖(金一圓ニ付)赤糖上錦九分一厘○大坂白糖一俵二分一厘○中國[illegible]一俵二厘○上八けん物一俵三分四厘○[illegible]十七〆八百目○兵庫[illegible]二〆目○下二十五〆目

○新綿　(金一圓ニ一)[illegible]六十目○京丹大入六百九十目○[illegible]大入七百目○三河州大入七百目○三尾州九入七百四十目○地綿九入七百四十目○[illegible]小入九百目，九百五十目○[illegible]小入一四百目ゟ一〆五百三十[illegible]

○洋糸　[illegible]

日本郵船會社橫濱出發

高砂丸	四日市行	四月四日	午後四時
兵庫丸	神戶行	四月四日	午後四時
相摸丸	荻ノ濱函館行	四月四日	午後二時
長門丸	神戶行	四月五日	正午十二時
名古屋丸	四日市行	四月五日	午後四時
山城丸	神戶行	四月六日	正午十二時
駿河丸	三宅島八丈島小笠原島父島母島行	四月六日	午後四時
右駿河丸荷物積切りは四日午後三時限りとす			
廣島丸	四日市行	四月六日	午後四時
播磨丸	荻ノ濱八戶宮古行	四月六日	午後十時
薩摩丸	荻ノ濱函館行	四月七日	午後二時
東海丸	四日市行	四月七日	午後四時
和歌浦丸	神戶行	四月八日	正午十二時
西京丸	神戶馬關長崎上海行	四月九日	正午十二時
右西京丸は十三日神戶出帆馬關長崎釜山仁川芝罘ヲ經テ天津行ノ敦賀丸ニ接續ス			
神戶丸	神戶行	四月十日	正午十二時

廣告

來る四月四日ダッコン號を以て神戶長崎をへて香港廈門印度への郵便物締切時限(府下支局)書留郵便物は午前八時並郵便物は午前九時半(本局)書留郵便物は午前十時並郵便物は午前十一時半(橫濱郵便電信局)書留郵便物は午後二時並郵便物は午後三時

來る四月六日佛國郵船アナデール號を以て神戶上海を經て香港印度及歐羅巴への郵便物締切時限(府下支局)書留郵便物は午後六時並郵便物は午後六時半(本局)書留郵便物は[illegible]並郵便物は午後九時半(橫濱郵便電信局)書留郵便物は七日午前七時並郵便物は午前七時半

明治廿二年三月三十日　東京郵便局

日本運輸會社支店增設廣告

東京芝區芝口二丁目七番地
日本運輸會社新橋出張店
橫濱柳町五番地
日本運輸會社橫濱出張店

右新橋橫濱の儀は是迄代理店を以て營業致來候處追々事務盛に赴き且不日東海道鐵道も運絡相成候に付前書之通り出張店を置き來る四月一日より開業仕候其他東海道各驛停車場には既に本社の代理店を設置し貨物迅速の御便宜相整ひ申候間何卒倍舊の御愛顧を以て陸續御出荷被成下度率希上候御披露旁此段廣告候也

明治二十二年三月
有限責任　日本運輸會社

⑦商標
附鍋釜鐵瓶鑄物一式
洋釘和鉄鋼砥石類品々
特別下直に差上申候以上
東京深川釜屋堀　⑦釜七本舖
仝　京橋區本八丁堀五丁目　⑦釜七商店

前大學醫學校大博士從五位佐藤尙中先生御方
たんせき四季風邪特効薬
淸邪散
二包入金四錢　四包入金八錢

陸軍々醫總監從四位勳二等松本順先生御方
薈鐵丸
二日分金五錢

胃弱症特効藥
健胃散　金七錢五厘　金十五錢
東京日本橋區室町三丁目一番地
神藥本舖資生堂
特約販賣
田中九右衛門
馬喰町二丁目　平尾贊平
銀座一丁目　佐々木玄兵衛

守田家製賣藥廣告
新方經驗　たんせきのしやぶり藥
立効丸
大包金十錢　小包金三錢
一老若男女喘咳のしやぶり藥にして咳逆つよきに其效あり老人つねに咳いで〻夜は安眠とあたはず又は喘息の持病有て喉飲つよく咳出忌され又はこみ上る等によし
東京下谷池之端仲町二十七番地
寶丹本舖　守田治兵衛謹製

守田家製立効丸取次販賣所

四ッ谷區鹽町二丁目十九番地	宮山惣之助
同　傳馬町三丁目十七番地	富山勘左衛門
麹町區十一丁目淸心丸本舖	河合治兵衛
本所區相生町五丁目	服部淸兵衛
同　天神橋際寶丹取次所	小牧彥兵衛
同　松代町三丁目十三番地	靑木とう
日本橋區本町三丁目	岡城半右衛門
同　米澤町一丁目	大木口哲
同　住吉町三番地板坂按摩齋	神山源八郎
同　村松町寶丹水本舖	岩瀨長齋
同　室町三丁目角	資生堂
京橋　東湊町一丁目	本間陽一
同　銀座二丁目精錡水本舖	岸田吟香
淺草區山之宿町八番地	宮崎きん
同　黑舟町萬齋競白袋	堀口[illegible]亭
下谷區仲徒町三丁目	有川柳太郎
本鄉區本鄉四丁目萬金丹	鹿兒島常三郎
同　本鄉二丁目十五番地	柳澤寅三
同　天神町一丁目之の花	有川[illegible]齋
小石川仲町六番地	五十嵐文雄
牛込東五軒町三十五番地	谷千代
南葛飾郡中の鄉村業平橋際	長井安規
荏原郡北品田村千二百九十番地	伴尾宇七
同　神田御成道松富町寶丹賣藥店	[illegible]
同　柳原通富松町寶丹支店	[illegible]
同　元柳原町廿七番地	[illegible]
日本橋通十軒店三番地	[illegible]